

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 一般国道101号 <small>あじがさわ</small> 鱒ヶ沢道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：青森県つがる市木造越水 <small>きづくりこしみず</small> 至：青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町 <small>にしつがる あじがさわ まいとまち</small>				延長 3.7 km
事業概要 一般国道101号は、青森市を起点とし、日本海沿岸部を經由して秋田市に至る延長約282 kmの主要な幹線道路である。鱒ヶ沢道路は、津軽自動車道の一部を形成し、青森県つがる市木造越水～同県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町に至る延長3.7 kmの自動車専用道路である。				
H19年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H22年度用地着手	H23年度工事着手	
全体事業費 87億円		事業進捗率 24%		供用済延長 - km
計画交通量 8,000台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 2.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 59億円/95億円 (事業費 : 46億円/81億円) (維持管理費 : 13億円/13億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 129億円/129億円 (走行時間短縮便益 : 96億円/96億円) (走行経費減少便益 : 17億円/17億円) (交通事故減少便益 : 15億円/15億円)	基準年 平成25年
感度分析の結果 【事業全体】 交通量 : B/C=1.2~1.6(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.3~1.4(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.3~1.4(事業期間±1年)				
【残事業】 B/C=1.9~2.6(交通量 ±10%) B/C=2.0~2.4(事業費 ±10%) B/C=2.1~2.2(事業期間±1年)				
事業の効果等 ①国土・地域ネットワークの構築 ・二次生活圈中心都市である五所川原市へのアクセス性が向上（鱒ヶ沢町から五所川原市 現況32分） ②安全で安心できるくらしの確保 ・県立中央病院（青森市）へのアクセス性が向上（鱒ヶ沢町から県立中央病院 現況76分） ③災害への備え ・鱒ヶ沢町の津波浸水区域を回避し、孤立する恐れのあるエリアを解消する ・青森県緊急輸送道路ネットワーク計画において、国道101号が「第一次緊急輸送道路」に指定 ・国道101号（第一次緊急輸送道路）の代替路となる				
関係する地方公共団体等の意見 ○青森県知事の意見 1. 「対応方針(原案)」案に対して異存ありません。 2. 津軽自動車道は、東北縦貫自動車道と一体となって、当地域と県都青森市及び首都圏など広域的な道路ネットワークを形成する極めて重要な高規格幹線道路です。 津軽自動車道の一部を構成する「鱒ヶ沢道路」は、災害時の緊急輸送や救急医療、地域間連携強化に欠くことのできない社会基盤であることから一日も早い完成供用に向け事業の推進をお願いします。なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いいたします。また、隣接する事業未着手区間「柏～浮田」間につきましても早期に事業着手されるようお願いいたします。 ○以下の団体等から、鱒ヶ沢道路の整備促進について要望あり ・青森県 ・青森県高規格道路建設促進期成会 ・津軽自動車道建設促進期成同盟会 ・青森県道路整備促進期成同盟会				
事業評価監視委員会の意見 対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率 24% (うち用地進捗率 46%)				

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・事業の進捗に係る問題はない。
- ・H27年度全線開通予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・一部盛土材を購入土から他公共事業との調整による発生土受け入れ。
- ・長尺プレキャスト製品等の採用。

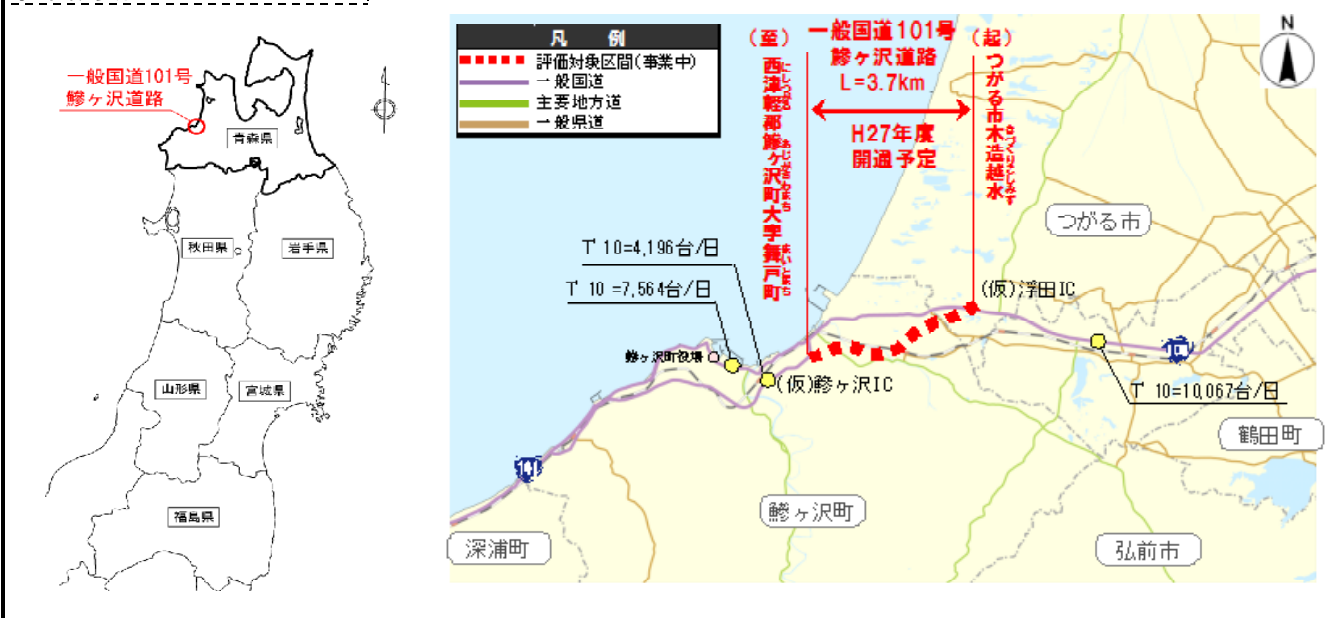
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。